



令和4年1月11日(火)
紀美野町立下神野小学校
☎ 073-495-2019

3学期を迎えて

新年明けましておめでとうございます。穏やかなお天気の中、良いお年始を迎えられたことではないでしょうか。新年になり再び新型コロナウイルス感染症の拡大が危惧されるようになりましたが、三学期は子どもたちにとって大切なまとめの時期であり、来年度への足がかりの時期です。感染症対策を十分に取っながら、子どもたちの学びを進めていきたいと思ひます。ご家庭でも本校の教育活動に是非ご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。さて、年末に実施しました学校評価アンケートの結果についてご報告申し上げます。

「学校評価アンケート」を受けて

【保護者アンケートの結果】

【特に高評価（とてもそう思う・そう思うが多い）の項目】

- 6. 学校は、子どもの安全確保・健康管理に取り組んでいる。(96%)
- 9. 子どもは楽しそうに学校に通っている。(94%)
- 1. 学校便りや懇談会などで、学校が目指す教育やその取り組みを知らせている。(93%)
- 2. 学校は、よくわかるように授業を工夫している。(91%)
- 3. 子ども一人一人が大切にされ、認められる学校になっている。(91%)
- 7. 子どもは、家庭との連携・連絡を密にしている。(91%)
- 8. 授業参観や懇談など保護者と交流する機会を十分設けている。(91%)

上記項目につきましては、90%以上の高評価をしていただきましたこと本当に嬉しく思ひます。この結果に満足することなく、子どもたちにとって「安心して学び、学力を高めることの出来る」学校づくりに努力して参ります。そうした観点からすると、「4. 学校は、子どもに、人権や生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を教育している。(87%)」「5. いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。(82%)」は、決して低い数値ではないものの、評価されている項目からは、少し下がっています。また、「10. 子どもは、学習が分かり、基礎学力が身についている(74%)」には課題がみられます。子どもたち一人一人の学びの姿や生活に今以上に目を配り、さらなる向上を目指して取り組む所存です。

【今後課題を要する（とてもそう思う・そう思うが少ない）項目】

- 17. 家庭での読書習慣がついてきている。(30%)
- 16. 子どもは、自分の持ち物を整理したり、管理したりできている。(36%)

16、17とも数年来の課題となり続けている項目です。17は一昨年度は(28%)、昨年度は(31%)、今年も低い数値に留まっています。今年親子読書への取り組みや図書委員会による読み聞かせ活動など取り組んできました。今後も課題改善のためできることを精一杯取り組んでいきます。

16の「持ち物の整理」についてはご家庭との連携が不可欠であると考えています。学校でも、整理整頓や物の管理について置く場所を学級で定める、物は大切に扱うなど、取り組みを継続して参りますので、ご家庭でも「自分のものは自分できちんと管理する」ということをご指導いただければと思います。今後とも連携しながら、子どもたちが、よりよい方向に進んでいくよう努めていきたいと思ひます。

個別の意見も多数頂戴いたしました。ご要望等について、お答えしたいと思ひます。

○下神野小学校ならではの良さを生かした教育内容などがあればさらに良いと思ひます。

柿収穫体験や昆虫学習など今後も体験的な学習に取り組んでいきたいと思ひます。

○厳しさも必要ですが、やる気のためにももう少しほめ言葉も必要だと思ひます。

その通りだと思ひます。子どもたちが意欲的に取り組むことができるよう適切な言葉かけをしていきたいと思ひます。

○子どもが時々、嫌な言葉や汚い言葉に心を痛めていることがあります。

本人はそれほど意識なく言った何気ない言葉が人を深く傷つけてしまうことがあります。言葉の問題はこれまでも大切だと子どもたちに伝えてきましたが、今後さらに各教科・各教育活動で言葉が持つ重みを指導していきたいと思ひます。併せて一人一人それぞれが大切だという人権意識も育てていきたいと思ひます。

○写真が見やすいように学校だよりをカラーにして欲しい。

申し訳ありませんが、毎号をカラー印刷することは難しく、ご理解をお願いします。各取り組みの雰囲気子どもたちの写真で感じていただければと思います。

○育友会やコミュニティスクールの会議や取り組みを報告して欲しい。

皆様に分かりにくい面があったかと思ひます。今後学校便り等でお伝えしていきます。

○学校開放月間について一ヶ月にして欲しい、分散にして回数を増やして欲しいなど。

感染症拡大も収まりつつあります。少しずつ本来の形に戻すことができると思ひます。

○最近、授業に集中できないお子さんがいるようです。一人一人個性を守りつつ、みんなを尊重できるようにしていただけたらありがたいです。

このことについては学校として大きな問題だと考えています。一人一人意欲的に学習することができるよう全力を尽くして参ります。

○普段の学校生活では先生方を信頼しているように思ひ、感謝しています。

他にも、お褒めの言葉や励ましの言葉をたくさんいただきました。本当にありがたく思っています。今後も、職員一丸となってよりよい学校作りに邁進して参ります。今後ともよろしくお願ひします。
学校長 広瀬 真三子

